

庚申塔



安永六年庚申塔（篠本二区）

歴史の散歩 (7)

今年は十千十二支でいうと庚申（かのえさる又はこうしん）の年に当たります。

とがあります。これが庚申塔で

道端に写真のような青面金剛を主体とし邪鬼を踏みつけその下に見ざる・言わざる・聞かざるの三猿、上部に日月を刻している石仏が建てられていたり、

町内には、宝永六年（一七〇九）をはじめとして青面金剛像十三基、文字十四基、庚申の文字三基の二十九基を確認しています。

文字で「庚申」「青面金剛」と彫られているものを見かけるこ

この信仰は人には三戸（さんし）の虫がいて、六十日に一度めぐってくる庚申の日の晩に天

に昇り天帝に罪過を告げて短命にするから、その夜は眠らずに過して訴えることのできないようにして健康長寿を願う道教思想によるものです。

これが仏教での青面金剛や帝釈天と結びついて江戸時代に入って広まり、江戸中期以降に神道の猿田彦大神と結びつきまし

3月3日は「耳の日」
耳を大切に

三月三日はミミの日、つまり「耳の日」です。今年で二十五

回目を迎えました。この日は「桃の節句」であると同時に、「耳を大切にしよう」「耳の悪い人びとを理解しよう」という

日としても定着してきています。健康な人でも、耳の障害に無

た。

三猿が刻まれているのは、庚申つまりさるの日の信仰なので猿と結びついた。また三戸になぞらえ眼や耳や口をふさいで悪事を天帝に報告させない意からとも言われています。

ちなみに今年の初庚申は二月十七日です。

関心で必要な処置を怠っていますと、知らず知らずのうちに聴力を失ってしまうことがよくあります。ふだんから耳の病気の早期治療を心がけましょう。



慶 弔

一月十五日現在受付（敬称略）

◎お誕生

〈部落・赤ちゃん・父親・続柄〉

宮内	藤代	知之	勝雄	二男
宮内	原	哲也	昇	長男
二又	布施	香織	廣志	二女
篠本	加藤	寛之	信雄	長男
台	長谷川	学	四郎	長男
新井	川野	景子	雄治	長女
宮内	鈴木	明美	英生	長女
宮内	藤代	美里	中	長女

◎ご結婚

〈部落・氏 名〉

関	実川	暢洋	金子	匡子
五ノ神	最上	光衛	佐久間	治恵
古屋	林	一夫	飯島	はるみ
芝崎	若米	利博	五木	田芳子
尾垂	川村	孝志	後藤	絹代

◎おくやみ

〈部落・氏名・性別・年令〉

二又	越川	常蔵	男	76歳
作間内	向後	武	男	55歳
谷中	伊藤	幸太郎	男	85歳
宝米	小川	利三郎	男	92歳
篠本	大木	忠	男	70歳
小田部	大柳	とし	女	70歳
白磯	坂田	カツエ	女	61歳
白磯	安藤	ミツ	女	79歳
尾垂	及川	睦	女	66歳
篠原	林	俊夫	男	66歳
五ノ神	伊藤	莊一	男	73歳

町の状況

〈1月1日現在〉

人口	男	5,783人	(-7)
	女	5,925人	(+2)
	計	11,708人	(-5)
世帯数		2,835	(-1)

()内は前月比